

---

**赤信号、みんなで渡れば怖くない。**

?夢兎?

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

赤信号、みんなで渡れば怖くない。

### 【Nコード】

N7794P

### 【作者名】

? 夢兎?

### 【あらすじ】

仲良し(?) 3人組のトリップ小説。

## §設定§

主人公設定

主人公1

珀月<sup>ハクツキ</sup> 瑠華<sup>ルカ</sup> 女

男女。 16歳 武器：銃

主人公2

柴崎<sup>シバサキ</sup> 杏菜<sup>アンナ</sup> 女

毒舌。 つか言動が刺々しい。 16歳 武器：双剣

主人公3

赤井<sup>アカイ</sup> 五月<sup>サツキ</sup> 女

突っ込み担当。 奇人変人。 変態。 武器：弓矢

…はい、軽く主人公設定ですね。すげー基本的なコトしか書いてねーけど 笑

一応これで頑張るつもり…、うん、変な追加入るかもしれないけど。笑

ってか、今見て思った…

タイトル全く関係なくね！！？

まあ、頑張って関係を深めようと思います。はい。

…すみませんでした。

銀網をみたらネジが回ってるか確認しろ。

赤井 side

ある日の下校中、

杏菜「ん…何アレ。」

…こほん、失礼。もう一度言います。

ある日の下校中、めっちゃめっちゃ光り輝く銀網を発見しましたです。

瑠華「うーわ、何アレ。すっげ。おい赤井、お前ちよつと落ちてこい。」

五月「いや何でだよ！！？」

と、僕にいきなりクソハードなミッションを与えて来た俺様オーラ全開の人は、

瑠華さん改め、珀月瑠華さんです。

怒ると怖いんですよ？ …怒らなくても怖いけど。

杏菜「ダメだよ、瑠華。そんなこと言ったら五月が可哀そうじゃん。」

五月「あ、杏菜…」

やばいです、あの杏菜さんが僕の味方をしてくれてます…!!!( )  
キラキラ

杏菜「やっぱココは本人の為にも、いきなり後ろから突き落とさなきゃ可哀そうじゃん？」

ほら、五月は変人だからそういうのきつと喜ぶよ！」

ですよね!!!!!!!!!!(泣

五月「いや待て!!ちょっと待て!!」

瑠華・杏菜「あ?何だよ/何?」

五月「僕は変人でもないです!!ましてや、あんなところに落ちたくありませんっ!!」

さあーっ、僕の魂の叫びを受け取れっ!!

瑠華「…。いーからさっさと行けや！……！」（怒）

げしっ

背中をけられ、ただ倒れるだけだと思っていたのですが…

杏菜さんが銀網を外していたんですよねー、あっはっはっ。

このやつっ！と思い、二人の服の裾を思いっきり引っ張った！……後で殺られるなー。）

そして、

背中に衝撃や痛みを覚える事もなく

ふかーいそこに沈んでいきましたとさ。

めでたしまでたさ（瑠華「終わるか！……！」（怒／蹴）

ぐはっ……！





山に行く時は方位磁石をお忘れなく。

珀月 side

瑠華「いでで…、このドカスがああああ！！！！（怒）」

馬鹿（赤井）に服を引っ張られ、杏菜とともに銀網に落ちた俺。

とりあえず赤井を蹴飛ばした。

五月「いったー！！！！？」

あ、吹っ飛んだ。

杏菜「マジお前ありえないわー…ちょ、いっぺんマジ死んでよ。」

五月「え！？キャラ変わってねえ！！？」

戻って来んのはやつ！？

瑠華「…まあ、馬鹿（赤井）は放っておいて…、ココ何処だ？」

目の前には、木、木、木。

杏菜「山…森かな？」

五月「すっげー！！日本？？ねえ、ココ日本！？（きらきら」

うわー…テンション高。うぜ。

杏菜「日本じゃないだろーね…。ほら、この木、日本には生えてないじゃん？」

そっいつて木を触りだす杏菜。うん、俺全く分かんねーけど。

瑠華「まあ…とりあえず、探検開始ー。」

拾った棒を持ってぶんぶん振り回しながら歩く。

五月「瑠華さーん…疲れたよおー…」

しばらく歩いてると、赤井がぶつぶつと文句を垂らしはじめた。

うん、無視。

五月「ちょ、何で無視するん……………えっ!!?」

いきなり絶叫して固まったぞコイツ。何があった。

おもわず、赤井の目線の先に目をやる。杏菜も同様だったようだ。

瑠華「…城…………?」

目の前には、でかい城。やっべ…………でかつ!

五月「すごーいっ!!!すごいすごい!!!ね、ね、入ろ?入ろ!!? (きらきらっ)」

テンションMAXで城に駆けて行く赤井。ガキかよコイツ。

しかたねえなあ、と言った様子で杏菜と後に続く。

そして、赤井が門をくぐった時…

ブーッ　ブーッ　ブーッ

瑠華、杏菜、五月「！！！！？」  
「」「」

いきなり、警報音が聞こえた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7794p/>

---

赤信号、みんなで渡れば怖くない。

2010年12月31日19時00分発行